

会 議 録

1 会議名	平成26年度第2回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成26年5月26日(月) 午後2時00分～午後3時40分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター 大会議室
4 出席者	<p>【委員】</p> <p>太田正, 束原勸, 山口和子, 神山光男, 川津昭夫, 高橋榮一, 藤枝登茂子, 笹沼志津子, 長谷川良子, 江連脩身, 中山善一, 手塚正義, 小嶋康夫, 長嶋秀子, 君島恭子, 高橋みどり, 福嶋修</p> <p>【事務局】</p> <p>地域自治制度担当副参事, 上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域づくり課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 地域経営課職員</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】 なし</p> <p>【記者】 なし</p>
7 会議経過	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 報告事項</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 合併市町村基本計画の執行状況について</p> <p>(2) 地域のまちづくりに関する施策の提案について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>

1 開 会	
第2回宇都宮市上河内自治会議開会	
事務局	3人の委員から欠席の連絡を受けており、出席者数は17名で、委員の過半数に達しているため、この会議は成立する。
2 会長あいさつ	
太田会長よりあいさつ	
3 報告事項	
会 長	それでは、次第3、前回の自治会議にてありました質疑について事務局から報告願う。
事務局	「資料1」に基づき報告する。

会 長	事務局からの報告について、意見・質問を求める。
全委員	意見・質問なし。
4 議 事	
(1) 合併市町村基本計画の執行状況について	
会 長	それでは、次第4，議事に入らせていただく。 まず、(1) 合併市町村基本計画の執行状況について事務局から説明願う。
事務局	「資料2」に基づき報告する。
会 長	それでは、項目ごとに審議願う。
① 道路新設改良事業について	
会 長	まず「1.道路新設改良事業」について、市道13127号線については、今までの自治会議の中でも議論されてきた。この中で必要性が薄れているという事で、見直しを求める趣旨の意見があったが、この表現、内容でよろしいか、意見を求める。
全委員	意見・質問なし。
会 長	これは、前回と変わっていないか。
事務局	25年度と同じである。
会 長	この市道13127号線については、合併市町村基本計画の中で認められたものであり、これを取り下げってしまうと、いわゆる「路線自体の整備が振り出しに戻ってしまうのではないか。」という意見と「現地調査をした結果、南側の幹線道路の方が本来実情に即しているのではないか、そちらに路線をつけかえる方が良い。」という事で、あえて合併市町村基本計画に掲げられている路線をそのまま整備していくことについては考え直した方がいいという2通りのご意見があり、結果的にはこのような形で落ち着いたという事である。 また、「地域内交通の更なる円滑を図る。」という事で、合併市町村基本計画に掲げられていない整備の必要性について、この部分は、市道13127号線の路線変更を含んだ意味合いということで、表現されている。 前年同様という事で今年度もこのような整理でよいか、意見を求める。
全委員	意見・質問なし。
会 長	では、この内容で整理させていただく。

② 上水道事業統合整備について	
会 長	特に松風台団地の市の給水区域編入に関わる取扱いであり、今までの懸案事項である。これについては、文章が途中で途切れているが、下にあるように、今後の予定という事で、意見交換を踏まえた上で文章を完成させるという趣旨であるが、意見を求める。
委 員	現在、日程調整しており、意見交換を行ってからの協議でよい。
会 長	当事者の方から意見が出たので次回という事にさせていただく。
③ 公共下水道整備事業について	
会 長	公共下水道整備事業について、意見を求める。
全委員	意見・質問なし。
④ 児童の健全育成環境の整備について	
会 長	こちらについては、事業終了という事で、いわゆる自治会議として、進捗審議の対象からはずすし、終了扱いとして消し込んでいくという事でよろしいか、意見を求める。
委 員	終了したという事なのだが、あまり利用されていないという話を聞いたが、利用状況について知りたい。
委 員	午前中は乳幼児の利用をあまり見た事がない。
委 員	人から聞いた話なので詳しい事はわからないが、始まったばかりだから利用者が少ないのかなと思う。 ただ、もう少しPRした方がいいかなとは思う。
会 長	それでは、利用の実態を次回の自治会議で報告願う。 まだ始まったばかりという事もあり浸透しておらず、「利用したくても知らなかった。」という方がもしあれば、その様な事のないようにしていかなければならないので、もっと周知徹底してく事を考えていきたい。 次回の会議の中で利用実態を報告いただいた上で、もし必要な追加の事項が求められるようであれば、終了ではあるが、改めて補足するという形で再度考え直したい。
委 員	子どもの家は、午前10時から午前12時まで、未就学児の子どもと保護者が来て憩いの場として使うというのと、学校終了後から午後6時までは、学校に通っている児童が利用する、という2つの形態があり、今言われたのは午前中、若しくは利用時間外の話ではないかと思う。 利用者はいなくても指導員はおり、その実態が把握されていないのではないか。 まだ認知度が低いと思うので、子どもの家としても、連合会としてもパンフレットを作りながら、宣伝するようにしている。

	上河内西小も利用が増えるまでに結構時間がかかった。今の生活実態をみると、働いている方のほとんどは保育園か幼稚園などに預けており、預けていない家でも、祖父母に子供を見てもらっていたりして、その方達が午前中時々、子どもの家に連れて来て利用しているのだと思う。利用者を増やすため、実態を把握し、色々と皆さんの意見を聞きたいと思う。よろしくお願ひしたい。
事務局	状況を確認し、次回報告する。
⑤ 中学校校舎整備事業	
会 長	これについても、整備事業は終了したとして自治会議の審議対象から消し込むという事でよろしいか、意見を求める。
全委員	意見・質問なし。
会 長	終了とする。
⑥ 中学校体育館整備事業	
会 長	今年度の耐震補強工事を予定し、その施工終了後も引き続き安全確保のための施設点検等が必要であるというような趣旨であるが、意見を求める。
全委員	意見・質問なし。
⑦ 生涯学習センター整備事業	
会 長	今まで自治会議でも懸案事項として議論してきたが、昨年度委員会が組織され、今年度も継続して協議が進められる予定であるが、意見を求める。
全委員	意見・質問なし。
⑧ 農産物直売所等整備事業	
会 長	<p>整備事業という名前からするとハード事業だが、実態はソフト事業に変身しているという事で、今年度の取扱いをどうするか議論していただいた。意見内容では、当初のハード事業としてのものは終了し、ソフト事業に読み替える。という事を表現しているが、よろしいか。</p> <p>この文章で我々には分かるが、文章そのものを読んでしまうと、「ソフト事業の支援と読み替えて終了」というと、ソフト事業の支援も含めて終了してしまうと読めないとも言い切れない。そこで、終了という言葉の前にいき、「農産物直売所整備事業は終了し、ソフト事業の支援と読み替えて改めて継続していただく。」というのではいかがか。</p> <p>補助金事業なので、そこは確保した方が良いと思うが、意見を求める。</p>
委 員	意見・質問なし。
会 長	では、文言について一部修正し、次回提示させていただく。

⑨ 農道整備事業	
会 長	前年度と変わりなく、計画的に進捗している事業だが、意見を求める。
全委員	意見・質問なし。
⑩ 地域交流館整備事業	
会 長	少し文章についてはふくらませてあり、特に第2段落目の「なお、施設の運営にあたっては」という所で「温泉とリンクした体験農園の開設など交流人口の更なる増加を図るため、地域資源を活かした事業の充実や宇都宮市都市マスタープラン及び、宇都宮市観光振興プランに即した温泉施設の活用整備を望む。」という事で、宇都宮市の計画などに即した要望内容に文章を少し変えてあるが、意見を求める。
副会長	最後の2行部分だが、昨年までは「足湯」という文言が入っていたが、今回この文言が入っていないという事になると、諦めた様になるので、ここはやはり「足湯」とい文言をいれた方が良い。 文面は、「地域のまちづくりに関する施策の提案の中で、温泉施設の拡充（足湯等の設置など）」という風にしたら良いのかと思う。
会 長	副会長からの提案であるが、何か他の委員で意見はないか。 事務局の方から足湯の整備は、随分前から出しており、私も2、3年前、直接市長にお会いした時にはその事を具体的な言葉に出してお願いした経緯があるので、その辺りの見通しを含めて報告があれば願う。
事務局	副会長の意見通り、前回の提案の中で「温泉施設の拡充（足湯の設置など）」という事を出している。 「資料3」に載っている部分もあるが、「健康・福祉編」の温泉施設という事で施設を整備するというような所で「足湯の設置」というのが読み取れるのかどうかということと、マスタープランや地域振興プランでも具体策までは記載がないことからこのような表現とさせていただいた。
会 長	決してそれはずしているわけではないということではあるが。
副会長	「足湯」の文言が入っていた方が良い。去年入っていたので。
会 長	他に意見はないか。
全委員	意見・質問なし。
会 長	では、「足湯の整備など」とか、前年同様の形で少し補足願う。
事務局	それでは「なお、」の所で「施設の運営にあたっては、指定管理者との意見交換を基本に温泉とリンクした体験農園の開設や利用者ニーズに対応した施設の充実（足湯の設置など）など交流人口の更なる増加を図る～」という事ではよろしいか。

副会長	よろしいのではないか。
事務局	<p>「なお、」の所か「また、」の所で修正させていただき、次回提示させていただきます。</p> <p>事務局として考えているのは、温泉施設や、その他の設備が老朽化している中で、安定的に継続して運営していけるような形の意味合いで、上の2行を入れた。</p> <p>ただ足湯については、全体的に交流拠点となる、交流人口をいかに呼び込むかという全体的な流れの中の1つの位置づけという捉え方をさせていただき、先ほど説明したように、マスタープランや地域振興プランに即した整備の中に呼び込んでいけばという思惑もありました。</p> <p>ただ、今、提案もありましたので、次回この文言については、再提示させていただきます。</p>
会長	10事業について一部修正もあったが、全体を通して改めて気づいた点等について意見を求める。
全委員	意見・質問なし。
会長	<p>先ほど何点か質問などもあり、4番目の子どもの家整備事業については具体的な利用状況把握が必要という事である。</p> <p>そのほか、2番目の松風台団地の方と上下水道局の連絡協議と意見交換を踏まえた内容でという件や今の足湯の件、農産物直売所整備事業の文言整理など更に見直しが必要であるとの意見があった。</p> <p>本日は、この流れでご確認いただくという事でよろしいか。</p>
全委員	意見・質問なし。
(2) 地域のまちづくりに関する施策の提案について	
会長	次に、(2)「地域のまちづくりに関する施策の提案について」事務局から説明願う。
事務局	「資料3」に基づき説明する。
会長	<p>今から3年前に作成した「産業・経済・交通編」の見直しを昨年1年かけて審議した結果を、よりわかりやすく、他の編、分野とバランスをとり、整合性を確保しながら案として作成した旨の説明があった。</p> <p>大きく项目的に分ければ、現状と課題、3ページの整理という事になるが、前回のものと比べ、現状、課題、それぞれ具体的な文章によって明確にした。それから10年後の目標については基本的に前回のものを踏襲している。</p> <p>方策の整理を踏まえた上で、それぞれの目標の文言をそうしたものに即した内容、あるいは文章に変更しており、方策5の地域内交通などは、デマンドタクシーという新たな交通環境の整備といった事に進んできて</p>

	<p>おり、そうした事を踏まえたうえで、路線バスを含めた利用促進になるうかと思う。</p> <p>まず2ページの旧と新を、比較し、このような形で再整理するという事でよろしいか。</p>
副会長	<p>前回の4ページに、「農業法人の設立と6次産業化」というのがあり、今回の場合については、はずれているわけで、農業法人の設立は非常に難しいのではないかと私は思っているが、この前まちづくり協議会の討論の中で上小倉地区の数名が6次産業化を目的とし、将来は農業法人を立ち上げるといった話を聞いた。</p> <p>その様な経緯があるが、法人化が今回は抜けるという事は、まちづくりとしては難しいとお考えなのか、そこの所をお聞きしたい。</p>
事務局	<p>この農業法人の設立、農業の6次産業化が難しいとの認識はあるが、先程言ったように、7つの方策を今回、5つに集約するため見直しを行ったが、農業、観光、交通、雇用を基本としてまとめ整理した。その際、農業法人の設立や農業の6次産業化は、農業、雇用の方策の中で、今後検討する実行プランのひとつとして、整理できると考えている。</p>
会長	<p>くくりを大きくしたと、はずしたわけではないという事である。</p> <p>その他、意見等はないか。</p>
全委員	意見・質問なし。
会長	<p>3ページの現状と課題、10年後の目標、ここは基本的に現状と課題を整理し、今後の目標についての方策に即した形で文言の整理をしたという事であるので、内容的にはそれほど大きく変化していないと思う。</p> <p>意見のあった具体的な方策の事務局側の説明では以前の方策が全体で7つあったものを重複していたりするので整理して、おおくりにして、5つの方策に整理した、という事である。</p> <p>具体的にいいますと2番目の柱「雇用を創出する」という所に方策が3つありましたが、その3つを1つに、問題点については1番目の柱と整理を行ったという意味合いである。</p> <p>従って2番目の柱だけでは、内容自体からするとスマートインターチェンジを活かした地域の活性化で、都市マスタープランなどでも市全体の中での交流拠点という位置づけになっており、そこを強くはっきり打ち出し、そこを起点にしながら全体としての地域活性化を打ち出している。その中に6次産業化とか、観光資源の活用とかそういうものが入り、全体が大きくくくられたという形だと思う。</p> <p>他に意見等はないか。</p>
全委員	意見・質問なし。

会 長	特に意見等なければ、平成23年2月の「産業、経済、交通編」の提案内容の方策は、今日の資料3のとおり見直し案としてよろしいか。
全委員	意見・質問なし。
会 長	資料3のとおり見直し案とすることで、確認させていただいた。次に、「参考資料」について、事務局より説明願う。
事務局	「参考資料」に基づき説明。
会 長	<p>私の理解ではこれが非常に重要な資料で、自治会議で議論し、それをまちづくり協議会側で受けとめ、実現可能性について検討していただいた。まちづくり協議会しても今後活動していく上で重要なことではないか。自治会議とまちづくり協議会が、2頭立ての馬車になるわけで、2馬力の形で両輪となって進めていく。このスタイルが今後非常に重要だと思う。いくら自治会議で物事を決めても、それが住民の方々すみずみまで行きわたり、共有されて実施されないとまったく意味がない。その点では、まちづくり協議会との連携がこのような形で進んでいくというのが、何よりだと思う。</p> <p>少し私の方から言い過ぎかも知れないが、先ほどの検討いただいた事と関連して言うと1ページの「産業・経済・交通編」の2番目、「雇用」の所で、スマートICを軸にした地域の活性化といった形に整理し、新しい案では以前の方策3と4がなくなる。この点をまちづくり協議会としてはどうするかというのも出てくると思う。ただ、先ほど事務局の説明にもあったが、農業法人化や6次産業化など、以前あったものが無くなった訳ではなく、方策全体としては含まれており、重複している部分を整理したという説明があった。</p> <p>方策5については、下の網の所、アスタリスクの注意書きを見ますと網かけは行政に望むもの、他は主に地域団体が取り組むものと、誰がやるかという事で色分けしてある。しかし、行政と地域が協力しなければならない取組みがあると思う。たとえば、IC周辺の整備に関しては行政が担うべきと思うが、それをどう活かしていくというのは住民が主体的に考えないとうまくいかないと思う。</p>
事務局	今、会長からご指摘いただいたように、確かに22年度の作成した時には行政と住民がはっきりわかれていましたが、色々検討していくと、主に行政がやるべき事業、一緒にやらなければならないもの等が出てくると思う。この見せ方については、今後、5つの方策を確定させ、それに基づく実行プランをグループ討議で決めていただき、まちづくり協議会とも連携をはかり、見せ方等についても整理したいと思う。

会 長	<p>それでは、事務局からも説明があったように、具体的な取組みについて、グループ協議を行いながらまちづくり協議会と連携し進めていきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。</p>
5 そ の 他	
会 長	<p>それでは、次第5，その他に移る。手元にある新聞記事とカラー刷りの資料について説明願う。</p>
保健福祉課長	<p>ほっとネット推進連絡会について、資料に基づき説明。</p>
会 長	<p>大変意義のある取組みであり組織の立ち上げだと思う。このほっとネット推進連絡会に関わっている方はいるか。</p>
委 員	<p>この会の前身は福祉研究会といい、平成19年に発足し、保健福祉課の肝入りだったと思う。地道に会議や研究会を開き、3年ほど前に急激に盛り上がり、現在のような形となった。我々もそれなりのエネルギーを使ったが、やはり保健福祉課が一生懸命にやって下さったことが大きいと思う。両輪がかみ合っとうまくいっているような気がする。行政の方で力をいれていただき、我々もそれに甘んじる事無く、現在に至っていると思う。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。私も他の地域の取組みを知る機会があるが、実際の地域福祉を誰が支えているかという、結局は地域住民の方々。そこにおっしゃったような行政なり福祉関係などの組織が加わり連携していくことが極めて重要なことだと感じる。特定の誰かがどこかで、というのではなく、見過ごしてしまいがちな穴をこうした形でふさいでいくものとして、1人1人のお年寄りなどに対するケアあるいはサポートをキメ細かくやっていくという、非常にいいシステムを作られたのではないかと思う。</p> <p>これもまちづくりの1つであり、自治会議としても取り上げていく、あるいは披露していくというのが1つであると思うので、色々な動きについて紹介いただくなり、まち協との連携の中で更に確認していくなど、そうした事を続けていきたいと思う。</p> <p>他にこのことに関してご紹介いただける方はいるか。</p>
委 員	<p>具体的な例として、5月29日にほっとネット主催によるチャリティショーが午後1時から午後3時30分まで、上河内中央小学校で行われた。施設の福祉関係の人達に来てもらったが、その中に、宇都宮大学と帝京大学の留学生に約100人来ていただいた。国際交流を行っている方に色々協力していただいた結果であり、そういう方がいらっしゃる事は素晴らしいと思う。</p>

	もう少し一般の方が来場していただけたらよかった。宣伝不足があったかもしれないが、これからも継続を考えているので協力をお願いしたい。
会 長	具体的な地域の中での取り組みが進んでいることはすばらしいことである。 その他、意見求める。
委 員	昨日のイベントに参加させていただいたが、中央小学校の体育館でトイレの事だが、和式のトイレが4つで、仮設トイレが2つ準備されていたが、障害のある方が利用した時にはとても難しいなと正直思った。和式のトイレを洋式トイレにする事は検討しているのか。
委 員	以前、市の実施計画の中でやっていくという回答があった。
委 員	検討お願いしたい。
事務局	教育委員会に確認し、次回の自治会議の時に報告する。
会 長	その他、意見や質問、連絡事項等ないか。
事務局	次の、第3回宇都宮市上河内自治会議は、6月30日（月曜日）午後2時から予定をしているが、改めて通知させていただく。
7 閉 会	
会 長	以上で、「平成26年度第2回上河内自治会議」を終了する。